

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	青少年の国際交流の推進-Road to Japan-		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度・未定		担当課室	参事官(青少年健全育成担当)		参事官 (青少年健全育成担当) 川又 竹男		
会計区分	一般会計		政策・施策名	確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり II-3 青少年の健全育成				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	日独青少年交流の強化についての共同発表(平成9年6月20日)、日韓共同未来プロジェクト(平成14年7月1日)、子ども・若者ビジョン(平成22年7月23日子ども・若者育成支援推進本部)、新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)、グローバル人材育成推進会議審議まとめ(平成24年6月4日グローバル人材育成推進会議)、今後の青少年の体験活動の推進について(平成25年1月21日中教審答申)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際化が進展する中、青少年自らが国際社会の一員であることを自覚し、自分とは異なる文化や歴史に立脚する人々と共生していくことが重要な課題となっているため、青少年に対し、国内外における異文化体験や青少年交流等の機会を充実させ、次代を担うグローバル人材の育成につながるきっかけを提供する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>①青少年国際交流推進事業 国内外の青少年指導者及び次代を担う青年リーダー、高校生の海外派遣・日本招へいを行い、青少年の現状や問題点等についての意見交換や、青少年育成活動、施設等の特性を生かす研修を伴った相互交流事業を行う。</p> <p>②青少年教育施設を活用した国際交流事業 青少年教育施設を中核として、東アジアを中心とした海外の青少年を日本に招き、日本の青少年との交流を行うとともに、地域の特性を生かし、関係機関と連携して自然体験・スポーツ体験・文化体験等を行う。</p> <p>③世界に雄飛するたくましい青少年を育む国際交流事業 諸外国の青少年と自然体験・スポーツ体験・文化体験等の様々なプログラムによる交流を行い、人類全体の未来に貢献する青少年を育むとともに、インターネット等を活用して復興を目指す日本の青少年の活力を世界にアピールする。</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	68.0	138.7	138.7	150.9	189.6	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	△ 0.3	-	-	
	計		68.0	138.7	138.4	150.9	189.6	
	執行額		62.2	125.6	134.0	-	-	
執行率 (%)		91.5%	90.6%	96.8%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	・事業に参加し交流を行った日本の青少年の外向き志向の増加率	成果実績		%	-	-	10.6	0~10
		達成度		%	-	-	100	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	・事業に参加し交流を行った日本の青少年及び青少年指導者の前年度増加率(対前年度比)	活動実績		%	0.8	401.6 (0 ~ 10)	31.5 (0 ~ 10)	- (0 ~ 10)
		(当初見込み)		件	8	15 (16)	15 (15)	- (15)
	・青少年及び青少年指導者に国際交流の機会を提供する事業数							
単位当たりコスト	8,645,730(円/事業)		算出根拠	事業当たりコスト(平成24年度) $X/Y=8,645,730$ 円 $X:129,685,944$ $Y:15$ 件				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.4百万円	0.4百万円					
	職員旅費	4.1百万円	4.1百万円					
	委員等旅費	0.1百万円	0.1百万円					
	庁費	0.2百万円	0.2百万円					
	初等中等教育等振興事業委託費	146.1百万円	184.8百万円					
計	150.9百万円	189.6百万円						

事業所管部局による点検												
	項目	評価	評価に関する説明									
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	本事業は、「日独青少年交流の強化についての共同発表(平成9年6月20日)」、「日韓共同未来プロジェクト(平成14年7月1日)」等の両国首脳による青少年の交流に関する合意に基づき行っているもの、及び「新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)」に掲げる国家戦略プロジェクトである「グローバル人材の育成」に資するものであり、国が中心となり、自治体、民間団体等と連携を図りながら事業を進めることが重要である。									
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○										
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○										
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募(企画競争)を実施しており、その妥当性及び競争性を確保しているところ。また、事業参加者から渡航費の一部を徴収し受益者負担の考え方を取り入れているところ。 なお、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査するために、事業実施現場への視察や担当者へのヒアリングを行い、適切な事業実施がなされているかを確認するとともに、事業完了後には事業の報告書類や支出を証明する書類の提出を求め、適切な執行がなされているかを検査するなど、その必要性について適切にチェックを行っている。									
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○										
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○										
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○										
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○										
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-										
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	青少年教育施設を中核に、文部科学省関連の施設を最大限に活用し、低コストで質の高い国際交流プログラムの提供に努めているところ。 なお、事業実施期間中に事業の成果報告を行う評価会等を必ず実施し、事業参加者から得た意見等を次年度以降の事業に反映するよう努めており、今後も必要に応じて見直しを行う。さらに、当該事業で得られた成果報告については、教育関係機関を始め広く一般にも周知するとともに、ホームページに掲載するなどの工夫を行っている。									
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○										
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○										
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名						
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名								
点検結果	<p>本事業の参加者が他の国際交流事業等にボランティアとして参加するなど、社会への波及的な成果が見られ、実効性の高い事業となっている。また、「今後の青少年の体験活動の推進について」(平成25年1月21日中央教育審議会答申)においても、「青少年に対して、国際交流体験などを通して国際的な視野を持たせ、海外留学への関心を持ってもらうほか、国際的に活躍できる人材の育成につながるきっかけを提供することが必要である」ことや、「青少年の国際交流の推進にあつては、例えば、青少年教育施設を活用した国際交流事業などを通して、より多くの青少年が機会を得られるよう、今後、取組をより一層充実させることが重要である」とされており、グローバル化に伴う、人・モノや様々な文化・価値観等が国境を越えて流動化しつつある今日の社会においては、青少年に対して、異なる文化や価値観による考え方を受け入れたりすることができる能力や態度を育成する必要があるため、今後とも効果的な事業実施に努める。</p>											
外部有識者の所見												
外部有識者による点検対象外												
行政事業レビュー推進チームの所見												
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、国際化が進展する中、青少年自らが国際社会の一員であることを自覚し、自分とは異なる文化や歴史に立脚する人々と共生していくことが重要な課題となっているため、青少年に対し、国内外の様々な人々との交流の機会を提供する事業であり、予算執行状況及び長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:当該事業は、概ね計画通りに予算執行されてきているものと考えられるが、更なる事業の効率化を目指し、積算単価を再検証するなど、コスト縮減に努めるべきである。一方、国際交流は継続的な取り組みが必要であるが、活動・成果実績を踏まえ、適時・適切な事業の評価・検証を行う必要がある。</p>											
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況												
縮減	本事業については、更なる事業の効率化を目指し、委員会の開催経費や、外国人招へいに係る経費の積算単価の見直し等のコスト縮減を行い、▲1百万円反映した。											
備考												
<p>「日独青少年交流の強化についての共同発表」について: http://www.mofa.go.jp/mofaj/kaidan/kiroku/s_hashi/arc_97/gaiyu97/jg.koryu.html</p> <p>「日韓共同未来プロジェクト」について: http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/korea/future/jk_future_prj.html</p> <p>「子ども・若者ビジョン」について: http://www8.cao.go.jp/youth/suisin/pdf/vision.pdf</p> <p>「新成長戦略」について: http://www.kantei.go.jp/jp/sinseichousenryaku/sinseichou01.pdf</p> <p>「グローバル人材育成推進会議審議まとめ」について: http://www.kantei.go.jp/jp/singi/global/1206011matome.pdf</p> <p>「今後の青少年の体験活動の推進について」について: http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2013/04/03/1330231_01.pdf</p>												
関連する過去のレビューシートの事業番号												
	平成22年	0080	平成23年	0331	平成24年	0332						

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
134.0百万円

・諸謝金 0.4百万円
・職員旅費 3.7百万円
・委員等旅費 0.1百万円
・庁費 0.1百万円

を含む

学識経験者、青少年団体関係者等で構成される事業企画評価委員会を設置し、委託事業の採択をはじめ本事業の推進方策等を検討する。

【委託・公募】

【委託・公募】

【委託・公募】

A. 青少年国際交流推進事業
:48.6百万円

独立行政法人等(全6件)

B. 青少年教育施設を活用した
国際交流事業
:61.1百万円

独立行政法人等(全8件)

C. 世界に雄飛するたくましい
青少年を育む国際交流事業
:20.0百万円

(公財)ボーイスカウト日本連盟

国際化が進展する中において、青少年に広い視野とともに、異文化に対する理解や異なる文化を持つ人々と共に協調して生きていく態度などを育成するため、国内外の青少年及び青少年指導者(以下「青少年等」という。)の国際交流を行い、共同体験を伴う異文化交流や意見交換等を通じて、自己の確立を図り、国際理解を深め、国際性を養うなど青少年の健全育成を図るための事業を実施する。

東アジアを中心とした海外の青少年を日本に招き、青少年教育施設を中核とし、周辺のスポーツ・文化施設、高等学校・高等専門学校・大学等関係機関と連携し、地域の特性を生かした自然体験・スポーツ体験・文化体験等の機会を提供することにより、日本に対する理解増進を図るとともに、招いた海外の青少年との国際交流体験を通じて、日本の青少年の国際的視野を醸成し、東アジアの中核を担う次世代リーダーを養成するための事業を実施する。

全国の青少年教育団体やNPO、ボランティア、さらには地域コミュニティなどと連携し、全国の青少年教育施設等を活用して、海外の青少年と国内の青少年との自然体験・スポーツ体験・文化体験等を交えた国際交流を通して日本再生に関する外国の理解を増進するとともに、人類の未来に貢献する高い志を持った日本の将来を担う青少年の育成を図る。また、これらの取組を積極的に全国及び海外に発信し、日本の青少年の活力をアピールするための事業を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 独立行政法人国立青少年教育振興機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	渡航費、移動費 等	6.0 百万円			
諸謝金	講義謝金、通訳謝金 等	1.7 百万円			
借料及び損料	バス借料、会場使用料 等	0.8 百万円			
その他	消耗品費、雑役務費、消費税相当額、通信運搬費、会議費	0.5 百万円			
印刷製本費	報告書印刷費 等	0.2 百万円			
一般管理費	上記経費の10%	0.9 百万円			
計		10.1 百万円	計		0
B. 独立行政法人国立青少年教育振興機構			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	渡航費、移動費 等	9.5 百万円			
借料及び損料	バス借料、会場使用料 等	1.3 百万円			
諸謝金	講義謝金、通訳謝金 等	1.1 百万円			
その他	消耗品費、雑役務費、消費税相当額、通信運搬費、会議費	0.8 百万円			
印刷製本費	報告書印刷費 等	0.2 百万円			
一般管理費	上記経費の10%	1.3 百万円			
計		14.2 百万円	計		0
C. 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	渡航費、移動費 等	13.7 百万円			
借料及び損料	バス借料、会場使用料 等	1.8 百万円			
諸謝金	講義謝金、通訳謝金 等	1.5 百万円			
その他	消耗品費、雑役務費、消費税相当額、通信運搬費、会議費	0.7 百万円			
印刷製本費	報告書印刷費 等	0.6 百万円			
一般管理費	上記経費の10%	1.8 百万円			
計		20.1 百万円	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

※表示単位未満四捨五入のため合計額が一致しないことがある。

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人国立青少年教育振興機構	日独の青少年が、国際性豊かな社会人となることを目的とした相互交流事業を実施	10.0 百万円	企画競争	—
2	独立行政法人国立青少年教育振興機構	日独の青少年が、リーダーとしての資質を高めることを目的とした相互交流事業を実施	10.0 百万円	企画競争	—
3	独立行政法人国立青少年教育振興機構	日独の青少年教育指導者が、資質・能力の向上を目的とした相互交流事業を実施	9.4 百万円	企画競争	—
4	独立行政法人国立青少年教育振興機構	日韓の青少年が、友好親善を一層深めることを目的とした相互交流事業を実施	8.7 百万円	企画競争	—
5	公益財団法人日本博物館協会	日独の青少年教育指導者が、博物館教育における資質の向上を目的とした相互交流事業を実施	6.1 百万円	企画競争	—
6	公益財団法人日本体育協会	日独の青少年指導者が、資質の向上と、青少年交流の発展を目的とした相互交流事業を実施	4.4 百万円	企画競争	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人国立青少年教育振興機構	日本とアセアンの青少年による交流事業を実施	14.2 百万円	企画競争	—
2	山口県青少年地域国際交流推進コンソーシアム	東アジアを中心とした11カ国の青少年と山口県等の青少年による交流事業を実施	11.8 百万円	企画競争	—
3	財団法人育てる会	日本とベトナムの青少年による交流事業を実施	9.8 百万円	企画競争	—
4	独立行政法人国立青少年教育振興機構	日本とスリランカの青少年による交流事業を実施	7.2 百万円	企画競争	—
5	独立行政法人国立青少年教育振興機構	日本とマレーシアの青少年による交流事業を実施	6.1 百万円	企画競争	—
6	独立行政法人国立青少年教育振興機構	日本とタイの青少年による交流事業を実施	6.0 百万円	企画競争	—
7	独立行政法人国立青少年教育振興機構	日本と韓国の青少年による交流事業を実施	5.2 百万円	企画競争	—
8	特定非営利活動法人教育支援協会	日本と在日の青少年による交流事業を実施	0.8 百万円	企画競争	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人ボーイスカウト日本連盟	諸外国の青少年と自然体験・スポーツ体験・文化体験等の様々なプログラムによる交流事業を実施	20.0 百万円	企画競争	—

※表示単位未満四捨五入のため合計額が一致しないことがある。